



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月29日

上場会社名 株式会社 ウェッズ
コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲妻 範彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理部長 (氏名) 中尾 宏平

TEL 03-5753-8201

四半期報告書提出予定日 2021年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	6,683	19.9	161		164		104	
2021年3月期第1四半期	5,572	9.3	2		2	99.1	26	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 94百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 57百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	6.51	
2021年3月期第1四半期	1.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	20,972	14,552	63.3	828.16
2021年3月期	21,535	14,668	62.1	834.31

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 13,282百万円 2021年3月期 13,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		10.00		12.00	22.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,600	0.8	200	6.0	230	0.5	115	2.0	7.17
通期	31,000	0.4	1,560	0.7	1,610	0.4	1,005	0.4	62.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	16,118,166 株	2021年3月期	16,118,166 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	80,039 株	2021年3月期	80,001 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	16,038,139 株	2021年3月期1Q	16,038,165 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、輸出の増加傾向が続き、設備投資が回復する等明るさも見え始めています。一方で新型コロナウイルス感染症が拡大する中、緊急事態宣言等の活動制約も続き、個人消費は一進一退になる等、ワクチン接種の進展に伴う回復期待はありますが、全体としては依然先行き不透明な状況です。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響緩和等による新車販売台数の増加、また顧客需要が回復する中、事業全般で売上増となり、6,683百万円（前年同期比19.9%の増収）と1,110百万円の増収となりました。また、営業利益は161百万円と163百万円の改善、経常利益は164百万円と162百万円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、104百万円と130百万円の改善となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

		自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	その他	調整額	連結
売上高	当第1四半期 連結累計期間	4,575	1,470	532	106	293	△295	6,683
	前第1四半期 連結累計期間	3,861	1,176	461	105	229	△261	5,572
セグメント利益 又は損失(△)	当第1四半期 連結累計期間	152	5	△4	4	3	△0	161
	前第1四半期 連結累計期間	62	△50	△29	8	6	△0	△2

(自動車関連卸売事業)

自動車関連卸売事業の売上高は、4,575百万円となり前年同期比713百万円(18.5%)の増収となりました。これは、主力のアルミホイールに加え、自動車用品等商品全般の販売が増加したことによるものです。セグメント利益につきましても、アルミホイール等の増収により、152百万円となり前年同期比90百万円(143.0%)の増益となりました。

(物流事業)

物流事業の売上高は、顧客需要の向上に加え新拠点立ち上げに伴う新規取引等により1,470百万円となり前年同期比294百万円(25.0%)の増収となりました。セグメント利益につきましても新拠点に係る費用等を吸収し5百万円と56百万円の改善となりました。

(自動車関連小売事業)

自動車関連小売事業の売上高は、自動車用品等の販売がジェームス各店及び通販共に増加し、532百万円となり前年同期比71百万円(15.6%)の増収となりました。セグメント損失は4百万円となり、前年はバーデン安城店をジェームス安城店として7月にリニューアルするための一時休業と改修費用もあったため、前年同期比25百万円の改善となりました。

(福祉事業)

福祉事業の売上高は、ヘルパー収入の増加により106百万円と前年同期比1百万円(1.2%)の増収となりました。一方で人件費等の増加によりセグメント利益は4百万円となり、前年同期比4百万円(△54.3%)の減益となりました。

(その他)

携帯電話代理店事業の売上高は、Yモバイルの販売が好調で273百万円となり前年同期比64百万円(30.7%)の増収、賃貸事業の売上高は20百万円となり前年とほぼ同額、合わせて293百万円となり前年同期比64百万円(27.9%)の増収となりました。セグメント利益は、携帯電話代理店事業ではインセンティブ収入の減少や販売経費の増加等により、セグメント損失は8百万円と前年同期比5百万円損失が悪化しました。また賃貸事業は、経費等の減少によりセグメント利益は11百万円となり前年同期比2百万円(27.2%)の増益、合わせて3百万円のセグメント利益となり前年同期比3百万円(△52.6%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間における総資産額は20,972百万円となり、前期末に比べて563百万円減少しました。主たる要因は、売掛債権が減少したことによるものです。

負債総額は6,420百万円であり、前期末に比べて447百万円減少しました。主たる要因は未払法人税等及び買掛債務の支払によるものです。

純資産は14,552百万円となり、前期末に比べて115百万円の減少となりました。主たる要因は配当金の支払等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第1四半期における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、2021年5月13日付当社「2021年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2022年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,050,338	4,797,772
受取手形及び売掛金	3,505,934	2,915,210
電子記録債権	178,577	146,035
商品	2,538,931	2,685,004
仕掛品	209,048	195,409
原材料及び貯蔵品	52,173	58,047
デリバティブ債権	413,420	385,565
前渡金	124,764	393,756
その他	391,107	393,996
貸倒引当金	△267	△477
流動資産合計	12,464,028	11,970,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,857,817	7,868,303
減価償却累計額	△4,178,532	△4,252,798
建物及び構築物(純額)	3,679,284	3,615,504
土地	3,357,291	3,358,291
その他	1,496,989	1,477,842
減価償却累計額	△1,157,207	△1,153,036
その他(純額)	339,781	324,806
有形固定資産合計	7,376,358	7,298,602
無形固定資産		
のれん	103,696	99,110
その他	60,659	55,187
無形固定資産合計	164,356	154,297
投資その他の資産		
投資有価証券	443,417	453,857
繰延税金資産	360,508	376,598
退職給付に係る資産	73,625	72,253
その他	659,240	652,363
貸倒引当金	△5,696	△5,646
投資その他の資産合計	1,531,095	1,549,427
固定資産合計	9,071,809	9,002,328
資産合計	21,535,838	20,972,649

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,464,432	2,394,546
短期借入金	266,440	306,440
未払法人税等	384,517	67,993
携帯電話短期解約返戻引当金	619	—
賞与引当金	201,494	215,887
役員賞与引当金	59,100	19,125
その他	816,431	771,016
流動負債合計	4,193,036	3,775,008
固定負債		
長期借入金	1,722,000	1,688,640
繰延税金負債	7,242	10,916
修繕引当金	55,500	59,360
退職給付に係る負債	212,931	214,824
役員退職慰労引当金	116,859	124,167
資産除去債務	198,194	198,574
その他	361,884	348,802
固定負債合計	2,674,612	2,645,285
負債合計	6,867,648	6,420,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	845,913	845,913
利益剰余金	11,243,885	11,155,905
自己株式	△47,760	△47,781
株主資本合計	12,894,787	12,806,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171,641	178,679
繰延ヘッジ損益	286,831	267,505
為替換算調整勘定	27,516	29,190
その他の包括利益累計額合計	485,988	475,375
非支配株主持分	1,287,413	1,270,193
純資産合計	14,668,190	14,552,355
負債純資産合計	21,535,838	20,972,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	5,572,861	6,683,752
売上原価	4,471,602	5,281,191
売上総利益	1,101,259	1,402,561
販売費及び一般管理費	1,103,563	1,241,175
営業利益又は営業損失(△)	△2,304	161,385
営業外収益		
受取利息	103	91
受取配当金	7,485	6,312
為替差益	8,877	667
その他	7,056	5,424
営業外収益合計	23,523	12,495
営業外費用		
支払利息	1,596	1,497
固定資産除却損	13,527	4,825
その他	3,989	3,382
営業外費用合計	19,113	9,705
経常利益	2,105	164,175
税金等調整前四半期純利益	2,105	164,175
法人税、住民税及び事業税	4,789	66,126
法人税等調整額	44,237	△6,701
法人税等合計	49,027	59,424
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46,921	104,751
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,417	274
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△26,504	104,477

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46,921	104,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,891	7,065
繰延ヘッジ損益	△39,031	△19,325
為替換算調整勘定	139	1,673
その他の包括利益合計	△11,000	△10,586
四半期包括利益	△57,922	94,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,499	93,863
非支配株主に係る四半期包括利益	△20,423	301

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「携帯電話短期解約返戻引当金」は、当第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示することといたしました。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結累計期間等に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,756,661	1,019,624	460,943	105,736	5,342,965	229,896	5,572,861	—	5,572,861
セグメント間の内部売上高又は振替高	104,575	156,714	274	—	261,564	—	261,564	△261,564	—
計	3,861,236	1,176,338	461,217	105,736	5,604,529	229,896	5,834,426	△261,564	5,572,861
セグメント利益又は損失(△)	62,954	△50,947	△29,679	8,815	△8,857	6,741	△2,115	△188	△2,304

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額188千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,444,517	1,305,698	532,632	106,959	6,389,807	293,944	6,683,752	—	6,683,752
セグメント間の内部売上高又は振替高	130,494	164,727	351	—	295,573	—	295,573	△295,573	—
計	4,575,011	1,470,426	532,984	106,959	6,685,381	293,944	6,979,326	△295,573	6,683,752
セグメント利益又は損失(△)	152,975	5,512	△4,259	4,029	158,258	3,193	161,451	△66	161,385

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額66千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。